



平成 24 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社 SmartEbook.com
代 表 者 名 代表取締役 安嶋 幸直
(JASDAQ・コード 2330)

問 合 せ 先 取締役財務部長 飯田 潔
電 話 092-263-5911

平成24年12月期 第3四半期連結業績と前年同期実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成24年12月期第3四半期（平成24年1月1日～平成24年9月30日）の当社連結業績につきまして、前年同期（平成23年1月1日～平成23年9月30日）の実績値に対して、下記のとおり差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 12 月 期 第 3 四 半 期 連 結 業 績 と 前 年 実 績 と の 差 異

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|------------------------------------|-------|------|------|--------|----------------|
| 前期（平成 23 年 12 月 期 第 3 四 半 期）実績 (A) | 948 | △808 | △804 | △1,099 | 円 銭 △499.68 |
| 当期（平成 24 年 12 月 期 第 3 四 半 期）実績 (B) | 369 | △674 | △586 | △569 | △259.62 |
| 増減額 (B-A) | △579 | 134 | 217 | 530 | — |
| 増減率 (%) | △61.1 | | | | — |

2. 差異が生じた理由

当社では、引き続き、再成長戦略プランを実現するため、「B2B プラットフォームの開発」「グローバルコンテンツの確保」「利便性の高い e-books ビューワー提供」に取り組んでおります。当第 3 四半期累計期間においては、各エリアの流通チャネル拡大を優先いたしましたが、そのチャネルへのビューワーの商品開発と各エリアへのプラットフォーム開発の遅れと、国内においては、フィーチャーフォン統合サイトからスマートフォンへの移行に伴うプロモーションを実施しなかったことが影響し、売上高は減少いたしました。営業費用はプロモーション費用の圧縮と売上減少に伴うキャリア代行手数料が減少いたしました。営業損失の改善には至りませんでした。この結果、当社グループの連結業績につきましては、売上高 369 百万円（前年同期比 61.1%減）、営業損失 674 百万円（前年同期は営業損失 808 百万円）、経常損失 586 百万円（前年同期は経常損失 804 百万円）、四半期純損失 569 百万円（前年同期は四半期純損失 1,099 百万円）となりました。

以上